

## 平成 29 年度「測量の日」における功労者感謝状の贈呈について

国土地理院では、測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、平成元年度から、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった個人又は団体に対し国土地理院長から感謝状を贈呈しています。

今年度は、以下の 2 個人・3 団体の方々に感謝状の贈呈を行います。

(個人・団体五十音順 敬称略)

### 【 個人 】

いちうじ しょうきち  
◆一氏 昭吉

大阪府門真市在職中の平成 18 年度から GIS 導入を推進し、「かどマップ」を構築し行政の効率化を図られた。特に基盤地図情報の活用を提唱し、近畿地方測量部と取り交わした「基盤地図情報の更新・提供に関する覚書」に沿った基盤地図情報スパイラルアップに貢献された。

平成 24 年 3 月退職後は、「GIS 大縮尺空間データ官民共有化推進協議会」支援グループの一員として指導的な役割を果たすとともに、官民連携の推進及び地域の地理空間情報活用推進、普及・啓発に大きく貢献されている。

また、平成 27 年度に設立された「地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会」委員の一員となり、積極的にイベント開催やパイロット事業に取り組む等、地域連携の推進に長きに渡り貢献されている。

みやぎ とよひこ  
◆宮城 豊彦 (東北学院大学教養学部 地域構想学科教授)

地域において、平成 23 年 3 月の東日本大震災以前より、ハザードマップと GIS を活用した自然地理・防災教育などを通じた地域住民の防災意識の向上に資する取り組みを行い、防災・減災における地理空間情報の重要性など、地理空間情報の普及・活用促進に多大な貢献をされている。

また、平成 22 年度に設置した「東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会」の発足に尽力されるとともに、設置当時から協議会の座長を努めるなど、協議会の運営及び協議会を通じた地理空間情報に係る課題認識や情報共有、東北地方に適する地理空間情報の効果的な活用促進に関する功績は顕著である。

## 【 団 体 】

いっばんしゃだんほうじん みやざきけんそくりょうせつけいぎょうきょうかい  
◆一般社団法人 宮崎県測量設計業協会（会長 西田 靖）

URL : <http://www.mspa.or.jp/>

宮崎県測量設計業協会は、測量設計業に係る調査研究・研修会等の開催、普及・啓発等に関する事業を通じて、業界の健全なる発展及び地位の向上を図ることを目的に組織された。

平成 5 年から県内の工業高校、農業高校において毎年測量実技講習会を開催しているうえ、平成 11 年からは会員の会社に高校生を受け入れて就業体験させるインターンシップにも取り組んでいる。将来の測量技術者育成を目的としたこうした取り組みは、県内外の測量設計業への就業や、さらなる勉強のために専門学校へ進学するなど、測量の担い手の確保に寄与するとともに、県内の測量設計業界の社会的地位の向上と持続的発展にも大きく貢献している。

おおいたししょうがっこうきょういくけんきゅうかいしゃかいかぶかい  
◆大分市小学校教育研究会社会科部会（会長 松尾 敦雄）

大分市小学校教育研究会社会科部会は、平成 19 年より小学生を対象に「大分市児童地図作品展」を開催している。この作品展は、児童が地域の姿を自ら観察・調査し、それらを地図として表現することにより、地図への親しみを深めるとともに、児童の地図利用及び地図作成能力の向上を図ることを目的に毎年開催しているもので、今年で第 11 回を数える。

国土地理院が毎年開催している企画展「全国児童生徒地図優秀作品展」においては、平成 24 年までは特別参加団体として出展していたが、平成 25 年からは全国児童生徒地図優秀作品展連絡協議会の正式な加盟団体になり、活動を強化しているところである。このことは、地域における地理・地図教育の発展に大きく貢献するものであり、その功績は極めて大きい。

ながくぼせきすいけんしょうかい  
◆長久保赤水顕彰会（会長 佐川 春久）

URL : <http://nagakubosekisui.org/>

長久保赤水 顕彰会（以下「顕彰会」という。）は、近代地理学の祖といわれる、高萩市出身の長久保赤水の功績を広く伝える活動に取り組んでいる団体である。

長久保赤水は、伊能忠敬の実測の日本地図より 40 年以上前に、緯線と方角線が入った地図「改正日本輿地路程全図」（赤水図）を出版した。地図には、北海道を除く日本列島が高い精度で描かれている。

顕彰会は、長久保赤水の作製した地図や作製過程（編集）の資料の整理に尽力するとともに、地図の文化財としての重要性を広める活動にも力を注いでいる。特に、長久保赤水生誕 300 年にあたる今年は、記念事業としてマンガ「長久保赤水の一生 付 赤水先生為学入門抄・志学警 現代語訳」の発行や記念切手の発行、地図・地理に関する専門家を講師とした講演会を開催するなど、長久保赤水の功績をとおして地図の重要性を広める活動に尽力している。また、今年 1 月 1 日に開設した HP は英文にも訳され、長久保赤水の業績や作製した地図を世界中に発信している。これらの活動は、地図や地理に関する普及・啓発に大きく貢献しており、その功績は極めて大きい。